

# おおさき 議会だより



大崎小学校運動会

(撮影：議会広報広聴常任委員 中山美幸)

## 9月定例会

- こんなこと決めました  
大崎町スポーツ交流施設  
整備事業(仮称)決まる …… 2  
平成30年度補正予算 …… 5

## ● 町政を問う(一般質問) …… 6

宮本昭一	議員
稲留光晴	議員
児玉孝徳	議員
中倉広文	議員
上原正一	議員
中倉毅	議員



# 施設を整備する 契約が決まる

2018年  
9月  
定例会  
9月6日～9月20日

## ●大崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

厚生労働省令である放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件について、学校教育法の規定から教育免許法の規定に変更されたことと、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者が町長が認めるものが追加されたことから、当該条例の一部を改正するものです。

## ●大崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

厚生労働省令である家庭的保育事業などの設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、代替保育に係る連携施設の緩和や家庭的保育者の居宅で行われている家庭的保育事業に対する自園調理に関する適用猶予期間が延長されたことなどから、当該条例の一部を改正するものです。

## ●大崎町リサイクル未来創生奨学金条例の制定

町長の5期目の公約であるリサイクル奨学金制度の創設に基づいて、大崎町リサイクル未来創生奨学金を設置するに当たり必要な事項を定めるため本条例の制定を行うものです。

(当該案件は、特別委員会に付託された。以下特別委員会での主な質疑内容を掲載)

質：大崎町リサイクル奨学金制度とはどのようなものなのか。  
(稲留議員)

答：大崎町内の金融機関からリサイクル未来創生奨学金ローンを借りて、返済した場合に、補助金交付申請（金融機関が発

行する当該奨学金ローンの返済を証明する書類などの必要な書類を添付）をしていただくことにより、元金相当額については卒業後10年以内に大崎町に戻って居住している期間分（最長10年間）を、利子相当分については、全期間分をリサイクル未来創生奨学金から補填する制度です。

質：元金について、上限などは決められているのか。また、利子は金融機関の定める金利でいいのか。（上原議員）

答：今のところ元金については、月額5万円を想定している。また、利子については、保証料を含んだ1.5パーセントを想定していると、連携金融機関から聞いている。

## ●大崎町スポーツ交流施設整備事業（仮称）における事業契約の締結

P F I法に基づき旧菱田中学校跡地に、合宿施設を整備することを目的に既存施設を解体し、併せて消防分団詰所を建設するため、特別目的会社である株式会社 O T Cと事業契約を締結するものである。

契約目的 既存施設の解体撤去・消防分団詰所の建設に係る設計、建設及び工事管理に関する業務並びに合宿所の建設に係る設計、建設、工事管理に関する業務及び維持管理、運営に関する業務

契約金額 2億6894万円

事業者 大崎町神領2156番地1

株式会社 O T C

代表取締役 弓場 昭大

※株式会社O T Cとは、大崎トレーニングキャンプの略で、今回締結する事業を実施する目的で設立された会社であり、代表企業その他に、設計・工事監理・建設・維持管理運営を担う企業4社で構成されている。

# 旧菱田中学校跡地に合宿

(当該案件は、特別委員会に付託された。以下特別委員会での主な質疑内容を掲載)

**質**：先般実施した議員研修の中で、県の担当課から、中学生及び高校生のグループは使用できないと明言されたが、当該事業に係る要求水準書の事業目的では、小・中・高校生なども使用可能であると解釈できる。県の意向と異なると思うがどのように解釈すればいいのか。(中山議員)

**答**：地域住民を含め、学生、実業団、トップアスリートまで利用可能な施設であり、トップアスリートに限定した施設ではないと認識している。

**質**：PFI方式というのは、後世に財政負担を残すことになるのではないかと懸念しているが、その点についてどのように考えているのか。(中山議員)

**答**：大規模な施設を整備すれば建設費や維持管理費は上昇することになると思うので、今後財政負担を軽減する努力をしなければならぬと考えており、その点については、合宿施設の規模や機能、また、どのような方々をターゲットにするのかなど、株式会社OTCや県の施設の指定管理者も交えながら、慎重に検討して財政負担の軽減が図られるような事業になるよう努力していかねばならないと考えている。

## 陳情1件を不採択

商工会に対する平成31年度補助金増額等について

趣旨

商工会に対する平成31年度補助金の増額や今後も安定的かつ

長期的な事業運営を展開するため、商工会に対する助成の制度化を執行部に働きかけるよう求めるもの。

以上のような趣旨から以下の3項目について検討されるよう陳情されたものです。

- 1 商工会に対する平成31年度補助金が増額になるよう執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。
- 2 小規模事業者販路開拓支援事業（インキュベーションシヨップ事業）に対する補助金が30万円になるよう執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。
- 3 商工会が今後も安定的かつ長期的な事業運営を展開するため、商工会に対する助成の制度化（条例化、規則化、要綱化等）を執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。

**反対討論**：1項目の平成31年度の補助金増額については、財源を捻出するのに苦慮しているのは分かるが何のための増額なのか分からない。2項目の小規模事業者販路開拓支援事業については、既に平成29年度から予算化されている。3項目の助成の制度化については、要綱などが整備されているとのことであり、必要性を感じない。以上のことから反対である。(上原議員)

## 賛成討論

陳情書の内容については、補助金の増額とあるだけで具体的な数字が見えてこない部分はあるが、補助金額を他の市町村と比較すると、大崎町は少ないと思う。他の市町村に近づくようにするための補助金増額には賛成である。(上原議員)

(陳情の審議内容などについては4ページにも掲載)

# 商工会陳情を不採択

9月定例会で各常任委員会に付託された議案の審議内容（抜粋）

## 総務厚生常任委員会

●平成30年度大崎町一般会計補正予算（第2号）

◇し尿等メタン発酵処理事業化可能性調査事業委託料（1096万円）

質…メタンガスを取り出す施設については、他の自治体では事業が滞り、補助金返納という事例があったようだが事業の内容を吟味して取組んでいるのか。（上原議員）

答…この事業の中で本当にメタンガスを取り出すことができるものなのか調査をしていくなかで、先進地研修などを通して間違いがないよう進めていく。

◇校舎等解体及び消防詰所等整備工事（2億6894万円）

質…消防詰所の建物が木造平屋建てになっているが2階建てにして、災害時の避難場所にすることは考慮しなかったのか。（吉原議員）

答…予算的なものがあり、その予算に対して事業者からの提案が平屋建てになっている。また、避難場所については、隣接する合宿所の屋上、或いは耐震強化されている3階建ての旧有明高校校舎の屋上で対応できないか、施設完成後に県と協議を進めたいと考えている。

## ●陳情を採択とする者が少数のため、不採択と決定

商工会に対する平成31年度補助金増額等について

（陳情の趣旨や要望事項などについては3ページに掲載）

質…要望項目3番目、商工会に対する補助金の条例化、規則化、要綱化などを働きかけるとあるが、これらの規程はないのか。（吉原議員）

答…現在、町から商工会に支出している補助金については、町の補助金交付規則並びに交付要綱に基づき、補助金を支出している状況である。

質…要望項目2番目、小規模事業者販路開拓支援事業の補助金は平成29年度から予算化されているのではないか。（吉原議員）

答…小規模事業者販路開拓支援事業は、平成29年度は補正予算に計上し、予算措置をしている。平成30年度は当初予算に計上し、支出をしているので、この事業は平成29年度から支援を行っている状況である。

## 文教経済常任委員会

## ●平成30年度大崎町水道事業会計補正予算（第1号）

質…配水管布設替工事659万円の詳細な説明を再度求めた。（神崎議員）

答…まず、県道黒石申良線西持留地区道路改良工事に伴う布設替工事については、既設の水道管は漏水補修を繰り返していたため、その漏水対策と耐用年数などを考慮して布設替工事を計画している。また、町道横瀬菱田線の正坂地区については、建設課の側溝新設工事が行われることに併せて、この区間の水道管の布設替工事を計画しているが、当該水道管は布設後約40年経過しており、耐用年数も経過していたことから、新しく耐震性のある水道管に布設替える計画である。

# 旧菱田中学校施設解体決定

補正予算 平成30年9月定例会 **総額4億704万円**

本会議での審議内容については、抜粋したものを掲載

## し尿等メタン発酵処理事業化可能性調査事業委託料

**1096万円**

地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業費補助金を活用した、し尿等メタン発酵処理事業化可能性調査事業に係る委託料です。

**質：**メタン発酵処理事業の可能性を調査するということであるが、将来の事業化についてどのようなものを想定しているのか。(中山議員)

**答：**現在、大崎町の衛生センターにおいて、し尿処理施設が稼動しているが、共用開始から既に35年が経過している。老朽化が進行しているため、当該し尿処理施設を更新するためには多額の費用を要する状況となっている。そこで、現在稼動している、し尿処理施設に変わる施設を検討しているところであるが、今回、地域循環圏・エコタウン低炭素化事業補助金が採択されたことから、し尿をメタン発酵することで、メタンガスを取り出してエネルギーとして利用することや、消化液の需要調査などを行うことで、施設の整備や設置の可能性を検討していくものである。

**質：**可能性を調査するということであるが、仮に可能性がないという結果が出た場合には補助金の返納が生じるのではないか。(稲留議員)

**答：**可能性を調査するものであるため、仮に可能性がないという結果でも、返納は生じない。

## 校舎等解体及び 消防詰所等整備工事

**2億6894万円**

菱田中学校跡地を活用したスポーツ交流施設整備に伴うもので、今回は、校舎などの解体と大崎町消防団菱田分団の詰所整備に係る工事費です。

## 畜産クラスター事業補助金

**2013万円**

収益性の向上、畜産環境問題への対応に必要な機械のリース整備や施設整備を支援する事業であり、今回、畜産農家による繁殖牛舎及び堆肥舎新築に対して補助を行うものです。



# 一般質問

6議員が登壇

# 町政を問う

宮本昭一 議員 P 7

- ・大崎町特定健診等・がん検診等について
- ・ジャンボタニシによる水稻被害対策について
- ・学校内や通学路などの安全対策について

稲留光晴 議員 P 8

- ・臨時職員の労働条件の処遇改善を求める
- ・会計年度任用職員制度の実施について
- ・本町の職員採用時の憲法擁護の宣誓は具体的にはどう実施されているか

児玉孝徳 議員 P 9

- ・地元中小企業、個人事業者への支援について

中倉広文 議員 P 10

- ・防災行政について

上原正一 議員 P 11

- ・危険廃屋解体撤去事業の復活の考えはないか
- ・町道・農道の未登記地の解消について
- ・窓口案内所は作れないか
- ・公営霊園の設置について

中倉毅 議員 P 12

- ・中学校統合の成果について
- ・小中校の二学期制について



## 議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。  
本会議の当日、傍聴者カードに住所・氏名を記入していただくだけです。

なお、本会議は本庁舎3階の本会議場において午前10時から行われます。一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は12月です。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111 (内線 310・311)

# 集団健診による医療費の動向は

## 医療費の伸びは抑えられている



宮本 昭一 議員

集団健診は町民の健康と、病気の早期発見・早期治療をすることにより患者の負担軽減や医療費の削減にもつながると思っ  
ている。健診の受診状況はどの  
ようになっているか。



集団健診の様子

### 受診率は増加傾向にある

#### 町長

平成20年4月から医療保険者  
に対し、40歳以上の被保険者を  
対象とする、内臓脂肪症候群該  
当者及び予備軍を減少させるた  
めの、特定健康診査及び特定保  
健指導の実施が義務付けられた。  
特定健診受診率は、平成27年度  
39・0%、平成28年度43・8%  
平成29年度は平成30年8月現在  
で43・57%で、訪問による受診  
勧奨の成果もあり、年々増加傾  
向にある。

### 医療費の動向は

#### 宮本議員

受診による早期発見・早期治  
療することで医療費の増減が出  
てくると思うが、ここ数年間の  
医療費の動向はどのようになっ  
ているか。

### 医療費削減につながる

#### 町長

各年度の国民健康保険の医療  
費は、平成27年度18億9617万  
円、平成28年度15億8569万  
円、平成29年度16億1331万

円となっている。医療費について  
は、特に平成27年度にC型肝炎  
などの高額薬剤が開発・処方さ  
れ、全国的に医療費が急増した。  
平成28年度に薬価改定が行われ、  
最近では社会保険や後期高齢者  
医療保険への加入者が増加し、国  
保被保険者が減少したこともあ  
り、平成28年度及び平成29年度  
の医療費の伸びも抑えられている。  
又、データを基に保健師などが訪  
問指導を行い、疾病の重症化を  
予防することが医療費の削減につ  
ながるものと考えている。

### 負担金の見直しは

#### 宮本議員

志布志市は国保加入者につい  
ては、胃がん検診・大腸がん検  
診等は無料であり、対象年齢も  
本町と差がある。本町も対象年  
齢の引き下げと、負担金を志布  
志市と同等にできないか。

### 今後検討する

#### 町長

対象者の引き下げと、各種が  
ん検診の無料化については、町  
の財政なども考慮しながら、今  
後検討する。

### ジャンボタニシの被害対 策の周知をしてきたか

#### 宮本議員

「ジャンボタニシ」が広範囲  
に異常発生している。繁殖力が  
非常に旺盛で、被害は田植え直  
後の苗が食害され、年々増えて  
きている。欠株ができて収量に  
も影響が出ている。これについ  
ては、平成22年6月議会と同僚  
議員が質問した経緯があるが、  
これまで被害対策としてどのよ  
うな周知をしてきたか。

### 水管理など食害防止の呼 びかけを実施

#### 町長

「ジャンボタニシ」が圃場に  
発生した場合は、田植え前の耕  
耘や水管理、駆除剤散布を実施  
し、食害防止に努めていただく  
よう呼びかけを行っている。

### 学校敷地内の遊具施設な どの安全点検はされたか

#### 宮本議員

県内では全体の3割を占める  
学校がブロック塀などの安全性  
に問題があったと報道されている。  
学校敷地内の建築物や遊具施設  
など安全点検の調査はされたか。

### 危険なものは撤去した

#### 教育長

町立小中学校内のブロック塀など  
の調査を早急を実施し、ほとんどが  
プール内の目隠し用に設置されてい  
たブロック塀で、大崎小学校を除く  
すべての学校で設置されている状況  
であったので、調査の結果危険と判  
断された塀については、7月末までに  
解体し撤去した。遊具施設について  
早急な撤去が望ましいと判断された  
物は撤去、修繕が必要な物について  
は本年度中に実施する予定である。



ジャンボタニシにより食害された水田

# 非正規職員の待遇は良くなったか

## 時給が上がった



稲留 光晴 議員

28年4月より交通費は支給されるようになった。  
その後改善されたか。

### 最低賃金改正で時給が上昇した

#### 総務課長

最低賃金が毎年改定になっており、それに基づいて、それを下回らないように賃金のアップをしている。

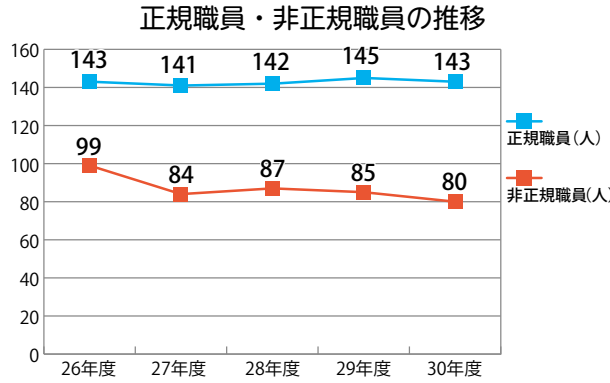
### 非正規職員数の実態はどうか過去5年間の推移を示せ

#### 稲留議員

本町において非正規職員数と正規職員数の過去5年間の推移はどうなっているか。

### 非正規職員は年次毎に減少傾向にある

#### 町長



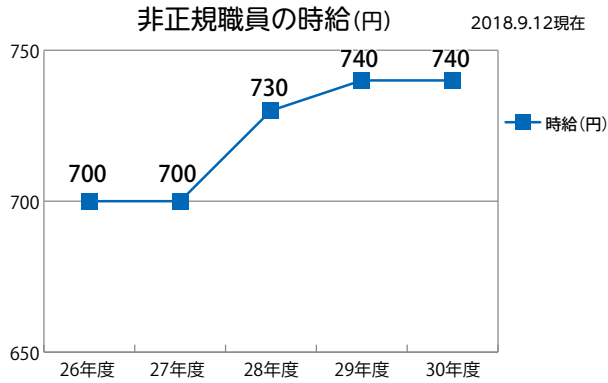
### 非正規職員の最低賃金の過去5年間の推移を示せ

#### 稲留議員

毎年最低賃金が改正される中で過去5年間の賃金推移はどうなっているか。

### 最低賃金に上乗せして支給している

#### 町長



### 会計年度任用職員制度実施はどう進められているか

#### 稲留議員

2020年度4月から会計年度任用職員制度が実施されるが、処遇改善に向けての第一歩である。本町ではどう進められているか。

### 各課のヒアリングを9月から始める予定である

#### 総務課長

会計年度職員制度の場合は、

フルタイムは期末手当を支給することが規定になっている。非正規職員が携わる業務なのか、また、定年延長や再任用制度など任用数を含めた調整も必要であり、各課のヒアリングを9月から始める予定である。

### 手当・年次休暇などはどうなるか

#### 稲留議員

正規職員と同様の支給対象であるが、各種手当や年次休暇などはどうなるか。

### 休暇に関しては、有給・無給のものがある

#### 総務課長

一般的な時間外手当、休日勤務手当、通勤手当、期末手当、フルタイム職員限定の退職手当である。休暇に関しては年次有給休暇、産前産後休業、育児時間休暇、介護休暇である。忌引き休暇などは、有給扱いとなっている。

### 職員採用時の憲法擁護宣誓はどう実施されているか

#### 稲留議員

憲法99条、および地方公務員法31条に関して憲法擁護宣誓義務を負うとされている。本町で

はどう実施されているか。

### 辞令交付時に宣誓書を読み上げ、署名押印を行っている

#### 総務課長

職員服務規定により、新たに職員となった者は、辞令交付時に、町長、副町長、総務課長の立ち合いのもと宣誓書を読み上げ、宣誓書に署名押印を行っている。

### 内容はどうなっているか

#### 稲留議員

宣誓文書の内容を読んでいたきたい。

### 宣誓書を読み上げる

#### 総務課長

宣誓書。私はここに、主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ擁護することを固く誓います。私は、地方自治の本旨を帯ずるとともに、公務を民主的かつ能力的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います。平成何年何月何日、氏名、町長の前で宣誓をしております。



# 地元中小企業へ人材育成や事業承継への支援ができないか

## 資格取得支援や奨学金の免除がある



児玉 孝徳 議員

と権限を付与して、商店街などの一元的なまちとして開発の推進を目指す取組ができないか。

### 活力ある町をつくる

町長

本町活性化のための中小企業、個人事業者への支援はどのようなものがあるか。

### 利子補給補助事業などがある

町長

商工業者の制度資金借入者に対する利子補給補助事業や、事業規模の拡大や経営改善のための地域産業育成事業、新たに町内で起業する方への新規創業企業支援事業、人材育成事業においても支援策を講じている。

### 一元的な町づくりを目指せ

児玉議員

経営面からの支援として、自治体が経験豊富なプランナーを高額の報酬でスカウトし、責任



熟練技能者の望まれる現場

### 奨学金免除の他に、後継者への支援は出来ないか

児玉議員

卒業後すぐに事業承継したり跡継ぎのため帰ってきたり、後継者への対策として、農業後継者のような支援はできないか。

### 振興策がない事は事実であり、今後、勉強し検討する

町長

新たな設備を導入した際の固定資産税の軽減など、町内企業の設備投資の促進をはかるための制度を構築した。

また、農林水産業や商工業等の事業を後継、または新規創業を目的に、高等教育機関などを卒業後、町内で就業した場合に奨学金を免除する「産業後継者育成奨学金制度」を設けている。しかし、商工業などの振興策がないことは事実であり、今後、勉強し検討する。



人気の大崎町産を使った料理

### 地産地消の取り組みで町の活性化を

児玉議員

地元の農家や畜産家などの地元産を地元商店やレストランなどで提供し、PRできるように、地産地消の取組が重要だと考えるが、セミナーを開催し商品力向上はできないか。

### PR活動や技術指導を行っている

町長

子どもたちへの啓発活動や学校給食での地元農畜産物の利用促進、またグリーンツーリズムを通じたPR活動や、技術指導を行い、地域資源を活用した商品開発を進めている。

### 企画調整課長

ふるさと納税の新たなPR事業で、商品の価値や販売力を高めるセミナーの開催を数回実施している。



ふるさと納税でも好評の大崎産うなぎ

# 消防団活動の充実をはかれないか

## 関係機関との連携をはかり さらに消防団の充実に努める



中倉 広文 議員

社会経済の変化に伴い全国的に消防団員の減少が進んでおり、また非雇用者団員の割合も増加し、消防団活動を十全に果たせなくなることが懸念されている。本町においても、平日昼間の災害時に出動できる団員が減少しているが、本町消防団の現在の人員状況と加入促進対策はどのようなか。

### 協議を重ね加入促進をはかる

町長

本町消防団員の定数条例は240人であるが、平成30年4月時点の団員は232人であり定数を満たしていない。加入促進については、各分団の勧誘や町の広報紙などで勧誘しているが、今後は消防団幹部や各分団

長などの協議を重ねさらに加入促進対策をはかる。

### 住民税減免の検討結果は

中倉広文 議員

消防団員を雇用している事業者には、公共事業の入札で優遇措置をしているとのことだが、どのような方法で実施しているのか。また、そのような事業者へは、法人町民税の減免をすべきという質問が過去になされたが、その検討結果はどうなったか。

### 法人町民税減免はしていない

総務課長

消防団員のある事業者には、入札参加資格の点数に団員1名で2点、2名以上は5点を加える対応をしている。法人町民税減免については現在のところなされていない。

### 関係課と検討する

町長

法人町民税減免については、その可否も含め関係課と検討する。

### 高度な技術指導をすべき

中倉広文 議員

現在、本町消防団では、非常呼集による消火訓練など基本的な訓練を実施しているが、実際の災害現場では様々な状況があり、被害を最小限度に抑えるには、その現場によって対応も変えなければならぬと考える。高度な技術を持ったプロの知見を学ぶ座学や実践などの消防技術指導を実施できないか。



消防出初式における操法訓練

### 多様な現場を想定し活動の充実に努める

町長

県内の指導状況を参考に、多様な現場を想定した訓練を実施できるように、消防団をはじめ関

係機関や団体と連携をはかり、消防団活動の充実に努める。

### 自衛消防団規則を見直せ

中倉広文 議員

平成22年に平日昼間の消防団員を確保するため特設分団が設置された。しかし、本町条例に基づくと、公共施設やその周辺の水・火災が発生した場合、自衛消防団と特設分団、どちらの立場で出動すべきか判断が難しいと思われる。自衛消防団規則を少し整理すべきではないか。

### 早急に整理したい

総務課長

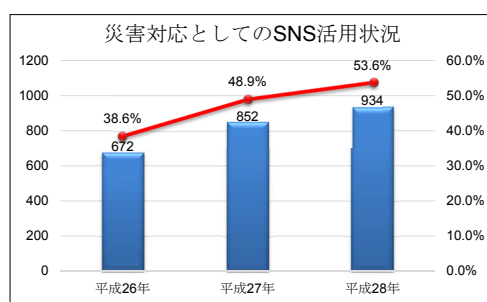
特設分団は、消防団員の就業形態が大きく変化する中、本町消防団の活動能力を補助する目的で設置された。自衛消防団規則については、特設分団の規則と混同している部分があるので早急に整理をしたい。

### 災害対応にSNSをさらに活用すべき

中倉広文 議員

大規模災害時においては、電話回線はつながりにくいがネット回線は利用できることが多く、

これまでもメリットを發揮しているようである。『災害対応におけるSNS活用ガイドブック』でも奨励されているようだが、本町も災害対応にSNSを活用すべきではないか。



出典：内閣官房 IT 室作成

### 検討し整備していく

町長

災害が発生あるいは予測される場合、本町では現在防災行政無線で周知している。しかしながら、さまざまな災害現場でのSNS活用の例もあり、現場の被害状況を収集するために、このような情報網の整備は必要なので、今後検討し整備していく。

※SNSとは、登録された利用者同士が交流できるWebサイト(ホームページ)のサービスを提供しているシステムやサーバ(の会員制サービス)のこと



# 危険廃屋解体撤去事業の

## 復活の考えは

### 何らかの対応は考えていく



上原 正一 議員

感じている。危険家屋も多く残っているが事業の復活は考えていないか。

平成23年度から3年間実施された危険廃屋解体撤去事業の実績と、申し込みが不承認となった件数はいくらか。又、事業が終わってから補助金返還を求めた事案があったか。

### 3年間で69件を実施

#### 企画調整課長

危険廃屋解体撤去事業は、3年間で69件実施された。危険な状態ではないと14件が不承認となった。補助金返還を求めた事案はなかった。

### 事業の復活は考えていないのか

#### 上原議員

危険廃屋解体撤去事業が終わってからも住民の要望が強いと



地域住民に心配される廃屋

解体補助を含めた対応を考えていく

#### 町長

県が統一して空き家対策に対応できる手引き書が策定された。本町も「空き家バンク制度」や「空き家リフォーム補助制度」の活用施策と同時に解体補助を含めた何らかの対応を考えていく。

町道、農道の未登記地の解消はできないか

#### 上原議員

高度成長期に行われた、農業農村整備事業等で事業を急ぐあまり、未登記のまま整備が進められた。今後、再整備する時、支障を来たし、事業が進まない町道、農道の未登記地の解消にどう取り組むか。

解消に最大限努力する

#### 町長

用地の補償費は支払われているが相続登記を開始していない状況が全国的に発生している。法の改正を求めながら、道路整備に支障がないように未登記解消に最大限努力する。

窓口案内所の設置はできないか

#### 上原議員

現在住民課の職員が窓口案内を兼ねている。声も大きいし挨拶もしつかりできている。しかし、窓口が混んでいる時は、自分達の仕事もあり、後から来られた方への対応は大変である。職員の交代制などの対応で案内所の設置はできないか。



来庁者に優しさが求められる窓口業務

現体制で進めていきたい

#### 町長

案内板も設置し積極的な声かけや挨拶なども実践しており、町内外から窓口対応に高い評価をいただいている。総合的に判断して引き続き、現体制で進めていく。

公営霊園の設置はできないか

#### 上原議員

年々共同墓地も空き墓が多くなり荒れた墓も見受けられる。人は最後は自然に帰っていく。3回目の質問になるが、私は樹木葬による公設霊園が一番適していると思う。これによる霊園を設置する考えはないか。

判断しがたい

#### 町長

常に考えながら分析など行っているが、本当に大崎町の地域に該当するか判断しがたく踏み込めない。

# 中学校統合の成果を問う

## 学力は劣り、体力(男子)は優る



中倉 毅 議員

平成26年4月、新生大崎中が誕生した。統合前は、町民との議論があり、議会でも少人数では、学力の競争原理が働かないのではないかと、又、部活動が十分に出来ないことと統合が望ましいとの結論に同意した。5年目を迎え、学力はどう変化したか。

### 学力は県、全国に及ばない

#### 教育長

現在の大崎中学校の学力は、本年4月に実施した全国学力調査によると、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の合計は、297点で地区平均を上まわるものの、県や全国平均には及ばない結果になっている。

県平均は、307点でこれを100とすると本校は、96・7となっている。

平成30年4月17日全国学力・学習調査資料

		国語A	国語B	算数/数学A	算数/数学B	理科
中学3年	大崎町平均	74	58	60	42	63
	大隅地区平均	73	56	60	41	62
	鹿児島県平均	75	58	64	45	65
	全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※数字は100点満点の正解率

### 家庭学習の課題は何か

#### 中倉毅議員

本年8月に出された外部評価書によると、学力が向上しない

理由として、家庭学習の習慣の定着が不十分とのことであるがその要因は何か。

### 家庭での学習時間が少ない

#### 教育長

中学3年生の家庭学習の時間は、今回の学力調査によると3割を超える生徒が1時間未満、又、テレビやスマホを2時間以上見ている生徒が3割以上いることなどが要因と考えられる。

### 学力向上の対策はあるか

#### 中倉毅議員

家庭における学習は、毎日2時間は自主学習をやるとか、テスト方式で実施するとか、宿題を与えて勉強する意識づけをするなど学校と家庭が連携しその方法を作るべきと思うがどうか。

### 1日の学習計画を立てさせている

#### 教育長

生徒には、1日の学習計画を立てさせて家庭に帰している。その中に、国語を30分とか、英語を20分とか、又、テスト勉強を計画の中に盛り込み、それを1日の学習計画として実施させている。それを担任がチェックして学力向上に生かしている。

### 部活の活動は活発か

#### 中倉毅議員

2番目に大きい課題は、部活の活動が活発に行われているかということ。統合して、果して生徒が部活に参加し、楽しい生活をしているか。

### 部活は、活発に行われている

#### 教育長

現在、部活は野球、サッカー、男女ソフトテニス、陸上、水泳、男女バレー、卓球、剣道、吹奏楽、ボランティアの12部で256人の生徒が加入している。加入率は、83%で統合時の76%より増加しており、活発に活動している。

### 体力は向上しているか

#### 中倉毅議員

部活加入率は増加しているということだが生徒の体力は向上しているか。

### 男子は向上しているが女子は劣る

#### 教育長

平成29年度の全国体力運動能力、運動習慣調査によると50メートル走やハンドボール投げなど9種目で県平均を100として、男子は172、女子は90となっている。このことから、特に女子の体力向上に努力していきたい。



学力アップセミナー



熱心に励む部活動



# クロスカントリーコース整備を調査 町内事務調査（総務厚生常任委員会）

## ○水槽付消防ポンプ車

既存の消防タンク車は導入してから30年弱経過し、老朽化による故障などが多かったことや野方地域では水利の確保が不十分である地域が多いことから、当該消防ポンプ車を導入したものである。施設整備費は、3164万円で、財源の内訳は、石油貯蔵施設立地対策等交付金や過疎対策事業債などとなっている。



水槽付消防ポンプ車

**要望事項** 当該消防ポンプ車は、水と一般火災対応の消火剤を混ぜた場合、4倍近い消火効果があるとのことであるが、その効果を認めるため、機会を設けて放水の実演をされるよう要望した。

## ○高速バス停留所整備工事

東九州自動車道の開通を受け、鹿児島空港への直行バスの停留所が設置されることになった。土地の購入、高速バス乗り入れに必要なバス停留所の整備及び駐車場拡張などの工事を行ったものである。施設整備費は、4131万円で、平成30年2月20日に完成しており、財源の内訳は、ふさと応援基金及び一般財源となっている。



高速バス停留所整備工事を調査

## 要望事項

停留所については、野方発着の時刻のみ表示されていたため、住民サービスの観点からも空港発着の時刻表示もできないか検討されるよう要望した。また、高速バス乗り場の案内板について、文字が小さく、現在の設置場所では分かりづらいとの意見があり、利用者及び道路を通行する方からも高速バス乗り場がはっきり認識できるように、案内板の大きさと設置場所を再度検討されるよう要望した。

## ○クロスカントリーコース整備工事

交流人口の増加及び地域の活性化を目的として、陸上合宿において最もニーズの高い1kmのクロスカントリーコースをくにの松原内に整備したものである。施設整備費は、745万円で、平成30年3月27日に完成しており、財源の内訳は、県補助金とふさと応援基金となっている。

## 要望事項

クロスカントリーコースの維持費削減の観点から、今後整備を計画している2kmコースの整備の際は、芝生に変わる材質についても検討するよう要望した。

## ○あすばる大崎温泉施設改修工事

温泉の熱量を確保するため、老朽化している機器及び施設の改修を行い、温泉施設の長寿命化をはかり、健全経営を確立するため改修工事を行ったものである。施設整備費は、4093万円で、財源の内訳は、全額一般財源で賄われている。



クロスカントリーコース整備工事を調査

# 大丸小学校校舎大規模改造を調査 町内事務調査（文教経済常任委員会）

## ○横内中村線道路改良工事

当該工事区間は通学路であり、これまで歩行者の通行に支障をきたしていたことから、関係者から歩道の確保が要望されていた箇所である。今回の改良工事は、3工区に分けて実施されたものであり、路盤工、側溝の設置及び車道や歩道のアスファルト舗装工が実施され、工事請負額の総額は、6631万円となっている。



横内中村線道路改良工事を調査

**要望事項** 一部に分離式歩道を確保できなかった箇所について、今後も改修の可能性も探りながら、利用者の安全・安心に繋がるよう対応を求めた。

## ○中山第二水源地1号ポンプ取替工事

当該水源地に設置してある取水ポンプについて、経年によると考えられる不具合が生じたことから、当該取水ポンプや逆流防止弁などの取替工事を実施したものである。工事請負金額は、135万円となっている。

**要望事項** 今後もそれぞれの機器の耐用年数や現在設置されている様々な計測機器が示す数値の僅かな異常にも留意されながら、これからの安定した上水道の供給に繋がるよう求めた。

## ○乗用全自動野菜移植機購入

現在使用している乗用野菜移植機が老朽化により故障の頻度が高くなったことから、新たな野菜移植機の購入を模索していたところ、今回、県単独事業が採択されたことを受けて実施されたものである。事業費は255万円となっている。

**要望事項** 今回の購入効果を十分に発揮するためにも、日頃の入念なメンテナンスと併せて、JAなど関係機関とも十分連携をはかり更なる稼働率の向上に努めるよう求めた。

## ○ふれあいの里公園遊具設備改修工事

当該改修工事は、経年による老朽化と国土交通省より示された遊具の安全に関する指針を受けて実施されたものである。工事の概要は、遊具施設の改修工事一式と人工芝の張り付けであり、工事請負額は2400万円となっている。



ふれあいの里公園改修工事を調査

**要望事項** 今回の改修効果を十分に発揮するためにも、今後のメンテナンスにも十分留意され、長期にわたり利用者に喜んでいただけるような施設の維持に努めるよう求めた。

## ○大丸小学校校舎等大規模改造工事及び付帯工事

当該工事は、昭和40年度に建設された管理棟などの老朽化により実施されたものである。工事請負金額は、大規模改造工事が2億3760万円、電気設備工事が4671万円、機械設備工事が1963万円となっている。



大丸小学校校舎等大規模改造工事他を調査

**要望事項** 一般教室については空調も設置されており、今後他の学校へも設置計画があることから、使用基準や設定温度など空調使用の取り扱いについて配慮されるよう求めた。



# 議会のうごき

## 大隅地域市町議会議員研修

8月27日、大隅地域4市5町の議員研修会が行われました。

今回は、志布志石油備蓄基地とJAXA内の浦宇宙空間観測所において現地研修が行われ、各施設の概要について説明がありました。



志布志石油備蓄基地の室内研修

その後、総会が行われ、事業実績や歳入歳出の決算、事業計画(案)や歳入歳出(案)及び協議会役員などについて審議し承認されました。また、協議会規約に「大隅地域の広域的な課題を議論し、地方自治の振興発展に寄与することを目的とする」(抜粋)と掲げていることから、今まで以上

に協議の場を設けるべきとの意見が出され、役員会で協議するとともに、各市町からも議題を出していくことが確認されました。

## 市町村議会広報研修会

8月28日、県町村議会議長会主催による市町村議会広報研修会が、鹿児島市のウエルビユーかごしまで開催され、議会だよりの編集を担当している広報広聴常任委員が参加しました。

今回の研修では『議会への関心を高める広報』と題して、エディター吉村 潔氏の講演と、同講師による議会広報クリニックが行われました。

関心を高める紙面づくりとして、Uターン者や高校生など住民が登場する編集を行ったところ、みんなが興味を持つようになった事例などの紹介や、審議の結果だけではなく、議決に至るまでのプロセスを掲載することも大切であることなどを学ぶことができました。

広報広聴常任委員会では、住民の皆様親しんでもらえる議会だよりの目指して編集作業を行っています。関心が高まる企画などを検討しながら、これまで以上に親しまれる議会だよりの目指してまいります。



広報研修会(広報委員参加)

## 広報広聴常任委員研修会

8月29日、霧島市議会の会議室で、『広報きりしまの編集について』研修を行いました。

当該広報紙は、全国表彰を多数受賞していることから、今回は、広報きりしまの編集方針や読みやすい紙面づくりのために工夫していることなどを学びました。

今回、霧島市及び県町村議会議長会主催の研修では、若年から高齢者まで幅広い年齢層の住民が登場する紙面を編集している状況や、その重要性について学ぶことができましたので、今後の編集作業に活かしていきたいと考えております。

## 来町議会

●南種子町議会(7月31日)  
生ゴミの堆肥化に関する研修のため、議員5名、議会事務局1名来町された。

●鳥取県西部町村議会議長会(8月28日)  
環境行政に関する研修のため、鳥取県西部の町村議会議長7名、事務局長1名来町された。



霧島市議会でも読みやすい紙面づくりを学ぶ

# 私の想い

〔持留の未来へ向けて〕



持留小学校PTA  
岡元 寛 会長

今年度PTA会長を務めている岡元です。持留小学校はP戸数十八、児童数二十人の小さな学校ですが地域の方々のご協力をいただき、奉仕作業では大勢の参加協力のもとグラウンド、校舎周りなど、手早く作業していただける事に感謝しています。

また先日行われた持留分館合同運動会でも地域の方々の参加により盛大にかつ賑やかに行う事ができ大変嬉しく思っているところであります。

私の在学中は約四十年前ですが

児童数百八十人くらいいましたので運動会はそれぞれの両親祖父母を含めると大変多く、学校近くの商店もかねての三倍四倍に店を広げ、子どもたちは紙ピストル？を打ち鳴らしお祭りの様な騒ぎでした。

しかしながらここ数十年で、児童数が少なくなり、近くにあった中学校も閉校、その後保育園も無くなりさみしくなっています。統合により、中学校も一つになり人口減少を感じています。

しかしながら今ある現状を受け止め明るい未来に向けて、今こそ皆で団結して、頑張っていくことが大事だと考えます。子どもたちも地域活動に積極的に参加し、さくらさくら祭りで歌やダンスなど披露しています。こうして地域の皆さんと交流を持ち、あの子は○ ○さんちの子ども或いは孫だよと少しでも顔を覚えていただければと思います。

地域活動に積極的に参加する事

により交流が生まれ、地域の安全活動にも役立ちます。学校、地域活動に消極的にならずにみんなと一緒に盛り上げていきましょう。立地条件は変えられませんが小規模校ならではの目の行き届く授業、活動を通し多くのことを学び、心身共に立派な子どもに成長してくれることを願ってやみません。



地域住民とともに実施される愛校作業

## 編集後記

季節も秋になり、過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。台風の通過で多大な被害が出た地域もありましたが、本町では大規模災害に至らず安堵しているところです。建物被害の原因の一部は老朽化が多いと言われていますが、日頃からの対策を取ることが大事だと考えます。

町議会では9月定例会が終わり議会報をお届けいたします。

わかりやすく、読みたくなる議会だよりをめざして、今後も努力してまいりますので引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

(稲留光晴)

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 吉原信雄 副委員長 児玉孝徳
  - 委員 中山美幸 委員 宮本昭一
  - 委員 神崎文男 委員 稲留光晴

発行責任者 大崎町議会議長 小野 光夫